



二中だより



第43号 2025（令和7）年1月21日 発行責任者 加賀谷 登

「丁寧さを大切に生活したい」

1月21日（火）徳島新聞朝刊「読者の手紙」の「若い声」で紹介されていた阿波市の14歳中学生の声です。昨年行った職場体験学習での感想です。阿波市役所でホームページの作成や防災無線による放送体験、体育館の備品確認などを体験したそうです。この職場体験で気づいたのが「丁寧に仕事をしている」ということだったそうです。どんなに急いでいたとしても、一つ一つの仕事を丁寧に行うことが、仕事をするうえで最低限のことであると思ったそうです。そして、これからの日常生活に対して、丁寧さを大切に物事に取り組んでいきたいと決意していました。実際の体験を通して学んだ貴重な意見だったと思います。

さて、明日から二日間、本校の2年生も職場体験を行います。それぞれの職場でどんなことを学んでくるか、しっかり目当てをもって取り組んできてほしいと思います。頑張ってきてください。また、終了後、感想等を紹介したいと思います。

朝のあいさつ運動・・・元気な声が響いています！

冬休み明けから、生徒会本部役員が新体制でスタートしました。まだまだ本格的な取組はできていませんが、さっそく朝の「あいさつ運動」で元気よくあいさつをしてくれています。1日のスタートから生徒会本部役員の元気を貰って、やる気がわいてくるような気がします。いいスタートを切るためにも、大きな声で笑顔を絶やさずをお願いします。しばらく寒い日が続くけれども、風邪を引かないように注意して頑張ってください。



年頭所感の発表

前号に引き続き、年頭所感の紹介をします。今回は、2年生2名の発表を紹介します。

ぼくは今年一年、クラブチームでの野球と勉強を両立させたいです。

勉強面では、3年生になれば、基礎学力テストがたくさんあり、その中でしっかりと点を取れば、行きたい高校の選択肢の幅が増えると思います。そのために、今のうちからしっかりと勉強して、勉強する癖をつけて、点が今より向上するようにしたいです。目標として330点取りたいです。

クラブチームでは、3年生が卒団して、自分たちが最上級生となりました。昨年までは先輩方に頼ってばかりでしたが、今はもう頼れる先輩はいないので、今度は僕たちが頼ってもらう立場になりました。後輩たちについてきてもらえるような先輩になり、僕たちの代では全国出場を目標に、日々の練習に手を抜かず全力でやりとげたいと思います。

勉強もクラブチームでの活動も大忙しとなる一年ですが、文武両道を頑張りたいと思います。

2年1組 嘉見 裕太

私の2025年の目標は、学習時間をしっかり確保することと生活リズムを整えることです。

私は昨年、自分から進んで学習をすることがあまりできませんでした。そのこともあって、私は毎回のテストで掲げてきた目標を達成できていませんでした。しかし、今年はいよいよ3年生になります。受験に向けて、しっかりと準備をすることが必要です。ここで有言実行することによって、自分の今後が決まっていくと思います。具体的には一日の中で学習する時間を決め、その時の気分に関わらず机に向かいます。

もう一つの目標は、生活リズムを整え、体調管理をすることです。昨年は少し体調を崩すことがありました。原因の一つとして、日々の生活リズムの乱れがあったと思います。今年受験に加え、部活動でも最後の集大成となる年です。具体的には、十分な睡眠時間の確保、バランスの良い食事、そして感染症対策も心がけます。

今年は、今まで以上に大変な年になるので、この掲げた目標を達成し、良い一年だったと実感できる年にしていきます。

2年2組 長池 良一郎